

月下美人



真夏の夜に咲く情熱の花

芳香を放ちながら一晩だけの命を燃焼させます。

月下美人は中南米原産のサボテン科、クジャクサボテンの一種です。高さは一〜三メートルほどになります。葉状の茎は薄く、直径二十センチほどの大輪の花を咲かせます。月下美人といえ、めったに咲かない珍しい花のように考えられがちですが、挿し木をして二〜三年間、冬の寒さと夏の日焼けに注意して育てれば、白く美しい大輪の花を咲かせることは、思ったほど難しいものではないのだそうです。ただ、他の花とちがいで、夏の夜のほんの数時間しか咲いていないことから、自然なたちで人の目にふれることが稀なため、育てにくい花のように考えられていたようです。月下美人はその花の咲き方にも特徴があります。初めは下向きに育ってきた蕾が、花が咲く数日前からだんだん上を向きはじめます。

そしていよいよ夕方ともなれば蕾は徐々にふくらみはじめ、最後はスピーディーに、一気に開花します。咲く時の勢いで茎が揺れると言われるほどの力強さで開花した月下美人も、その美しい姿が見られるのは二、三時間。翌朝にはすっかりおれてしまいます。さて、月下美人の香りは、むしろ満開になる少し前に最高潮に達します。その香りは色々なものに例えられています。ジャスミンの花に似た甘い香り、パウダリーなバラのような香り、それにスパイシーなカーネーションの香り、苦味のあるウツダイーナ香りなど。それらが渾然一体となって、独特の妖艶な香りをもし出し、あたり一面に放ちます。香気成分を分析してみても、様々な香りの成分を合わせ持っていることが、証明されています。中国では月下美人のことを曇花(タンファン)というそうです。「曇花一現」という諺もあって、その意味は、「美人薄命」だとか。妖艶で豪華な花を咲かせ短い命を終える月下美人は、まさしく真夏の夜に咲く情熱の花といえるのでしょうか。

●話題

特集「堺を知っているか？」

大人の自転車生活誌「BICYCLE NAVI」新春号では、「堺」の街を大特集、色々なアングルから堺を紹介しました。「もの始まり何でも堺」のページでは、堺の名所旧跡を一巡りし、「うまいもん」や「堺の巧」をレポート。へまちかどミュージアムとしての梅栄堂ショールームにも立ち寄り、歴史の街「堺」が生んだ線香の香りを聞いて、しばしのリラックスタイムを過ごしてみてもいいかもしれません。

△白香堂テレビで登場

関西テレビのスポット番組「満たして！好奇心」(一月十五日)では、和風雑貨の店「古香堂」が紹介されました。ストレス解消の一つとして「お香」を探して古香堂を訪ねたレポーターは梅栄堂に到着しました。おかげさまで、「残香飛」はたいへんご好評を頂いております。

堂本社にも立ち寄り、現在静かなブームになっている「香道」を体験されました。

チンチン電車でぶらり大阪市内と堺の街を結ぶ堺駅電軌は、地元ではチンチン電車として親しまれています。サンケイリビング堺では、さかいで遊ぼうと題して、チンチン電車で巡る日帰りの旅を提案し、史跡、伝統産業、こだわりグルメなどが掲載されました。記事では沿線にある与謝野晶子の生家跡をはじめ、「梅栄堂」も紹介されています。

◆新製品・マーケティング

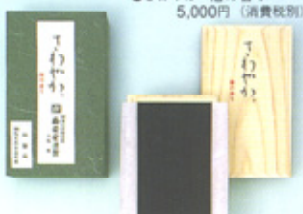
日経産業新聞(四月八日)の「地方のキラリ」のコーナーでは、新発売された梅栄堂のコーヒーの香りがする線香「残香飛」を紹介。家庭やオフィスでも焚ける新しいタイプのお線香として推奨されています。

●新商品紹介

「さわやか」(檜の香り)

この度、百パーセント天然楠精油を使用したお線香「さわやか」(檜の香り)を新発売いたしました。檜にはアルファピネンやボルネオールという成分が含まれていますが、この香り成分にはアルファ波を出現させて気分をリラクセスさせる効果があるといわれています。百パーセント天然楠精油使用の「さわやか」(檜の香り)で、森林のすがすがしい香りを是非お試しください。総檜を使用しましたすばらしい香りの箱詰めにしてお届けいたします。

●さわやか 檜の香り 5,000円 (消費税別)



◆超高級品シリーズ

お徳用箱 新発売

昨年発売いたしました「伽羅孔子木」は、おかげさまで好評のうち完売させて頂きました。今回、もう少しお手軽にお求め頂ける、超高級品シリーズ「沈香苑」(沈香薫昇)「沈香鳳龍」のお徳用箱を新発売いたしました。従来の中寸桐箱一束入りに比べ、お徳用になっております。是非ご利用ください。



●沈香 鳳龍 20,000円
●沈香 薫昇 30,000円
●沈香 香苑 50,000円 (ともに消費税別)